

2023年度 公立大学法人大阪第6回役員会議事要旨

日時：2023年9月13日（水）9時30分～10時10分

場所：阿倍野キャンパス医学部学舎1階応接室

構成員：福島理事長、辰巳砂副理事長、酒井理事、東山理事、櫻木理事、高橋理事、中村理事、
宮部理事、帯野理事(欠席)、藤沢理事(オンライン)

陪席者：西田監事(オンライン)、白井監事、市橋事務局長、大久保事務局次長、石井事務局次長、
千田総務部長、柴山企画部長、富宅医学部・附属病院事務局長代理兼事務局事務部長、
中井総務課長

【審議事項】

1 2024年度予算編成方針について

担当理事より、2024年度予算編成方針について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

<主な意見等>

- ・戦略予算、大学・全学的予算の合計額は、全体的な予算枠のどの程度なのか。
- ・全体の約3%。人件費は54%、経常経費等は15%である。
- ・昨今の賃上げに伴い人件費が単にスライドで良いのか等、経常的な経費についても見直しを行い、予算の策定段階で検討いただきたい。
- ・戦略・重点テーマ1つの項目にかける予算が限られるため、戦略予算と呼ぶほど財源を投資できないのではないかと。戦略項目を絞るか、既存の事業から重点テーマへの出費に力点を置く等、工夫しなければ重点にはならない。予算の使途や実際の効果についても報告いただきたい。
- ・現時点ではこれ以上の予算枠を確保するのは困難であるが、今後、外部資金等を獲得するなど、府市の運営費交付金に頼らず大学の自主財源によって戦略的経費を賄うことができるよう努めたい。

【報告事項】

1 本学と大阪・関西万博との関わりについて

企画課長より、本学と大阪・関西万博との関わりについて報告がなされた。

<主な意見等>

- ・パビリオン出展の目標は何か。新たな産学連携や国際連携等が生まれることを目指し、精力的に外部資金の獲得や連携施策を検討していただきたい。
- ・出展の効果を上げるためには、ターゲットの年代等を把握したうえで、飯田グループHD(株)とイメージを合わせ進めなければならない。
- ・学生が関西万博に関わることは重要である。それぞれの取り組み以外で、どのように学生が参画し、関西万博を盛り上げるかについても別途検討いただきたい。

2 健康長寿医科学研究センター（仮称）における介護老人保健施設の運営について

健康長寿医科学研究センター（仮称）開設準備室長より、健康長寿医科学研究センター（仮称）における介護老人保健施設の運営について報告がなされた。

3 医事紛争の経過について

庶務課長より、医事紛争の経過について報告がなされた。

【備考】

オンライン会議システムを併用した役員会は、適時的確な意見表明が互いにできる状態であることを確認しており、終始異状なく議題の審議等を終了した。

以 上